

## 平成24年度 第1回 倉吉未来中心利用者懇談会 概要

開催日：平成24年8月29日(水)

【現委員数】13名

今回出席委員：11名

※オブザーバー他関係者：2名

【意見交換の内容】(→は未来中心からの回答)

(委員)夜間の利用料金が高すぎる。バレエの場合、リノリウムを敷くと高額になってしまう。使っていない時間は、設備(備品)の減免もあると嬉しい。また、時間で計算するよりも、一回の催しでこれだけと、ぼんと値段を提示された方が分かりやすい。

→たとえ使っていない時間帯でも、占有していることにより他の利用者が使えないということを考慮すると、備品についての減免は難しい。但し、2日間にわたる催物の会場費については、1日目午後本番で夜間は利用しない、2日目午前本番だった場合、以前は1日目の夜間は本番料金としていたが、現在は準備料金としている。

(委員)ホール利用の際に、ピアノの利用回数の数え方が不明瞭で、リハーサル時に思い切り使えないので、はっきり教えてもらいたい。ステージに上げたら料金が発生するのか。備品のリハーサル価格があるのであればありがたい。

→基本的な判断は、リハーサルを行えば、料金が発生する。試し弾き程度なら徴収していない。職員ごとに判断が異なることが無いよう徹底する。

(委員)資料3「未来中心にギタリストを呼んでほしい」の意見に同感。有名人のツアー、人気のコンサートは鳥取や米子に流れる。県外からの集客があれば、地域活性化にもつながるのでは。

→基本はツアー、コンサートを企画する側が会場を決めている。ツアーの誘致のため、プロモーターへの営業等は継続的に行う。財団事業は県民提案を受けたり、アンケートをとったりしながら選定をしている。多くの提案、要望を出してもらうことが、地域の意見として反映できるので、意見を引き続きいただきたい。

(委員)子供たちの演奏についての減免がありがたい。他県では利用料がかかることもあると聞く。時代を担う子供たちの育成のためにも今後も減免を続けていただきたい。また、打ち合わせ時に、利用課と舞台の職員が同席することで一緒に進められないか。同じ説明を2回しなければいけないことがある。毎年同じようなイベントを行っている場合、簡略化できるのでは。

→当日の催事等により、利用課と舞台の職員が同席できないことも多くあるが、時間を短縮するためにも、できる限り同席できるように打ち合わせの方法を検討する。

(委員)2日間の利用時、持込電気料金が予想以上にかかることがある。事前に職員ともっと意思疎通をして、予算に収まるように利用出来たらいいと思う。

→ホール利用時の打ち合わせは、より細かく聞き取りをするように進める。

(委員)大ホール舞台のみ利用の練習プランを検討したいが、音楽の場合、音響反射板・イスが使えないと利用しづらい。最低限の備品を利用できないか。また、打合せの時点で見積もりを出してもらえると、不明な点について質問もできるし予算の調整もしやすくなるのでは。

→せっかくの割引プランも、「使い勝手が悪ければ意味がない」ため、利用しやすい制度になるよう内部で再検討する。見積もりは希望があれば発行しているので、遠慮なく申し出ていただきたい。

(委員)セミナールームの設営をする時、人数が少ないので、会場設営・片付けに時間と労力が必要となる。  
片付けだけでもいいので、手伝ってもらえるオプションなどがあると、とても助かる。  
→他館も参考にしながら、検討する。

(委員)レストランスペースを、展示スペースとして使いたい。未来中心には、長期で使える施設がない。レストラン・飲食店に固執せず、活用を検討してほしい。

(県)レストラン以外での利用希望の声は数件入ってきている。飲食店はパークスクエア内にあるので、飲食店以外も視野に入れて検討している。今年度中に使用プランを作り、早ければ来年度から活用を始めた。

(委員)セミナールームの位置がわかりにくい。表示がもっと増えれば良いと思う。ホール利用率については、各所にアプローチをかけ、地元の方にも参加できるイベントをしてもらえたら。先日利用したが、1500名全席の参加は難しく、500名程度の参加だった。参加人数での料金体系も検討してもらえれば。  
→表示については、案内板を無料で貸し出しているの、活用いただきたい。ホールについては、1階席のみ利用での料金プランもあるので、人数に合わせて検討いただきたい。ホール利用の営業は今後も力を入れていく。

#### 当日の様子(写真)

